

令和 7 年度

学校評価報告書



令和 8 年 3 月

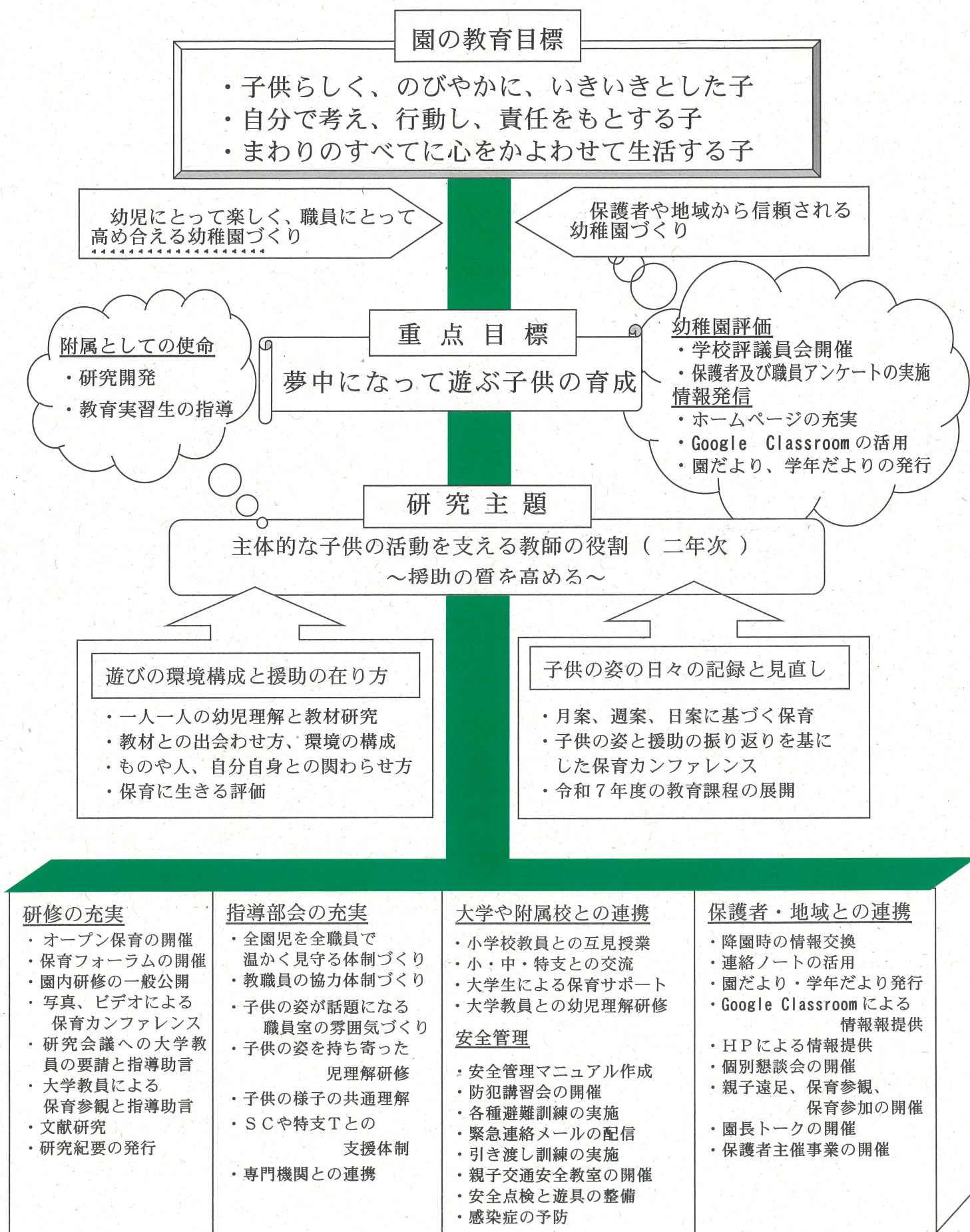
富山大学教育学部附属幼稚園

学校評価報告書 目次

I	令和7年度 附属幼稚園の教育プラン・・・・・・・・・・	1
1	園の教育目標	
2	重点目標	
II	本年度の評価計画・・・・・・・・・・	2
1	重点目標	
2	評価の指標	
3	本年度の評価について	
III	本年度の取組について・・・・・・・・・・	4
1	教育課程	
2	重点的な取組	
IV	本年度の取組に対する評価	
1	保護者・教員評価（7月）・・・・・・・・・・	5
	・配布用アンケート	
	・集計結果・考察	
	・保護者への報告	
2	保護者・教員評価（12月）・・・・・・・・・・	12
	・配布用アンケート	
	・集計結果・考察	
	・保護者への報告	
3	学校評議員会 記録・・・・・・・・・・	19
	・第1回	
	・第2回	
V	次年度の課題・・・・・・・・・・	21

資料 令和7年度 教育課程

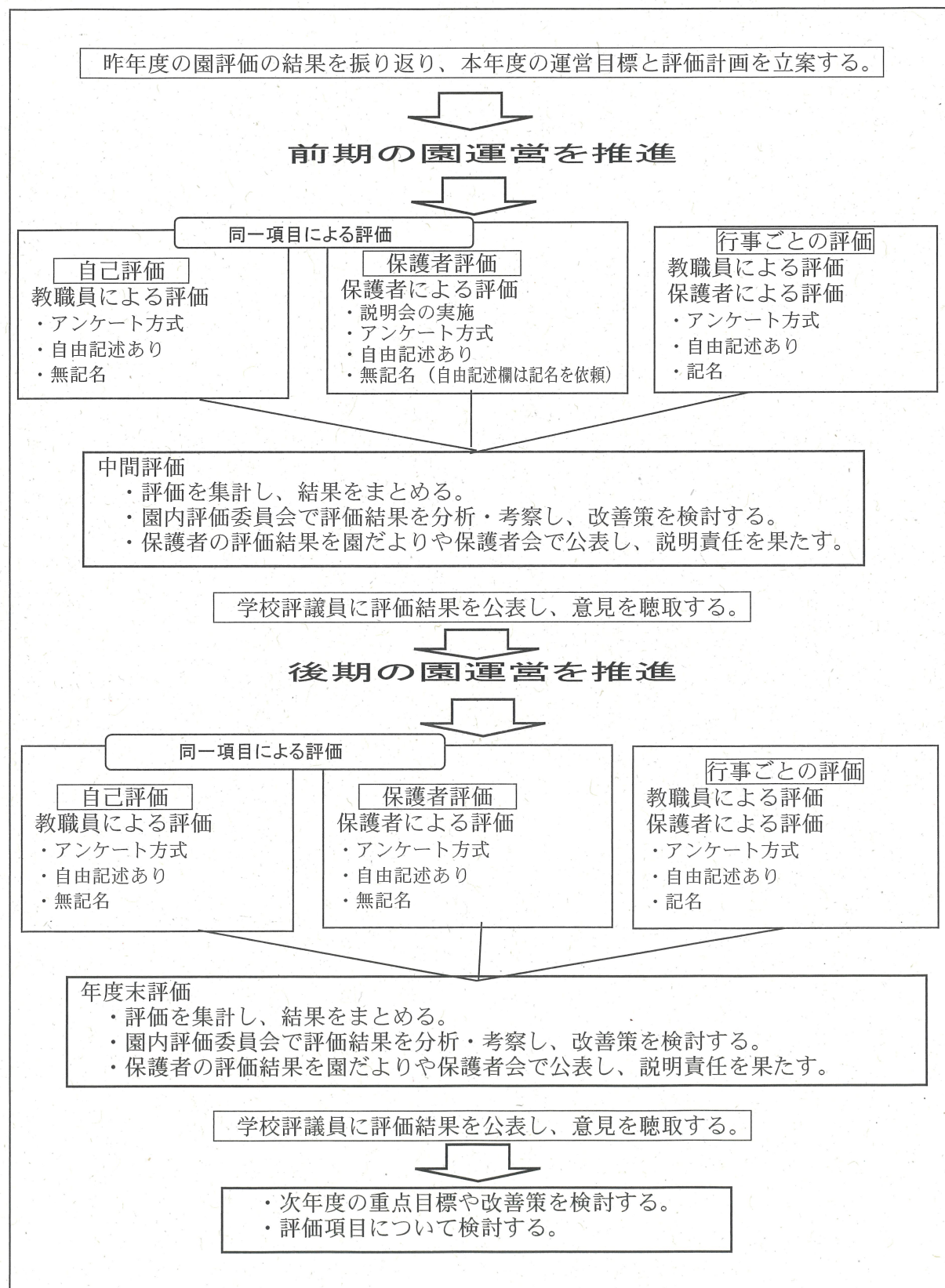
Ⅰ 令和7年度 附属幼稚園の教育プラン



Ⅱ 本年度の 評価計画

本年度の重点目標

保護者にさらに信頼されるような園運営
～共に子供を育てるという意識の向上を目指して～



1 重点目標

これまでの取組から園の教育方針や取組に対する保護者の理解が深まってきていると考えているが、保護者の価値観も多様化しているのでご理解いただけない部分もある。しかし、子供のためという点では共通した思いである。本年度も「共に子供を育てるという意識の向上を目指して」を副題に掲げ、園と保護者との強力な連携の中で、園の教育目標に掲げる子供の姿を引き出すことに努めている。

重点目標達成のため、教職員だけでなく、保護者、学校関係者を含めた広い視野から評価を行い、得られた結果や意見を適切に分析し、PDCAサイクルの中で園運営の推進と改善を進める。

2 評価の指標

評価項目に関する実際の取組状況や取組の効果を把握するための指標として、(1)保護者による教育評価アンケート、(2)教員による自己評価、(3)学校評議員による学校関係者評価の3種類の評価を実施する。

達成状況や取組の適切さや問題点、それらを踏まえた改善方策を探るため、年に2回、4段階評価で実施する。

また、記名式自由記述欄を設け、保護者のご意見を伺い、職員で共通理解する。

3 本年度の評価について

○評価内容

- ・保護者への教育アンケートと教員用アンケートの評価項目を同一とし、園の在り方を総合的に見直した内容を活用している。
- ・学校評議員の評価については、アンケート形式を見直し、自由記述の評価としている。

○評価実施時期

- ・教員による自己評価ならびに保護者への教育アンケートは例年通り、7月と12月の2回実施し評価する。

○評価方法

- ・保護者への教育アンケートの協力依頼文には、評価項目に準じた「主な取組」を記載し、実施した取組に対する評価を得ることができるようにする。
- ・保護者の教育アンケートについては、クラスルームで配信し、評価を返信してもらう。
- ・7月の結果については、昨年度の結果、12月の結果については、昨年度12月の結果と本年度の7月の結果と比較し、考察する。

○評価報告

- ・本年度も保護者への教育アンケートを実施する時期に、後期前半までの主な取組を保護者全員に伝える場を設ける。そうすることで園運営への理解を深めてもらうようにする。
- ・アンケート集計結果及び考察についても園だより等を利用して保護者全員に伝えた。
- ・本年度も、保護者への教育アンケートの記述欄への回答を園だよりに載せることとする。そうすることにより、園の教育方針や取組への理解がより深まるようにする。

※職員会議や学校評議員会に提出した教員アンケート及び保護者への教育アンケートの集計結果の考察、園だよりに掲載した保護者への教育アンケートの集計結果(園だより「おててつないで」)を参照ください。

Ⅲ 本年度の取組について

1 教育課程

本園の教育課程は、3歳児～5歳児の3年間で育ちの節目から15の「期」に捉えて編成している。本年度は、再編した新教育課程実施7年目として、実施・評価を継続して行っている。

※巻末の資料「令和7年度 教育課程」を参照

2 重点的な取組 ※昨年度の課題を受けての取組

(1) ICTのさらなる効果的な活用

- ・Google Classroomの活用（保護者との連携、及び、業務改善） → 活用の充実
- ・外部団体との連携・よい部分の導入 → 他附属幼稚園等の研修へオンラインでの参加
北信越附属幼稚園部会等をオンラインで開催

(2) 研究と勤務時間とのバランス

- ・充実した結果がでる研究の在り方 → さらなる改善が必要
- ・勤務終了時刻を意識した研究・研修 → 時間設定の見直し、計画段階での見通しが必要

(3) 業務改善と園運営との両立

- ・働き方改革と保育者等との信頼関係保持の両立 → 感謝、協力し合える関係づくり
コミュニケーションを密に
- ・業務内容・行事の縮減 → 教職員・みどり会との調整

Ⅳ 本年度の取組に対する評価

- 1 保護者・教員評価（7月・12月）
- 2 学校評議員会（8月・2月）

※次ページより

令和 7 年 7 月 8 日

保護者 各位

富山大学教育学部附属幼稚園

園長 徳 橋 曜

令和7年度 第1回 教育アンケートの記入について（お願い）

時下 保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本園の園運営及び教育活動推進に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本園では、教育活動その他の園運営を継続的に改善することを目指し、長期休業に入る機会を節目として自己評価を行っております。園の教育方針をご理解の上、いつも温かく全面的に園運営を支えてくださる保護者の皆様に「教育アンケート」へのご協力をお願いし、お寄せいただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。

つきましては、下記の「参考資料」をお読みいただき、Classroom から送付いたします教育アンケートにご回答ください。ご多用のところを恐縮ですが、7月17日（木）までにご回答の上、返信くださいますようお願いします。

なお、教育アンケートは、無記名となっております。ただ、ご意見コーナーに記入される場合は、お名前も一緒に書いていただけるとありがたいです。

「参考資料」

《園の教育目標》

- ・子供らしく、のびやかに、いきいきとした子
- ・自分で考え、行動し、責任をもとうとする子
- ・まわりのすべてに心をかよわせて生活する子

— 令和7年度前期前半の主な取組について（評価項目に準じて記載） —

- 1 園運営：保育参観（4月・6月）、学級連絡会、親子遠足
- 2 保育指導：子供が夢中になって遊ぶことができるようにするための環境構成の工夫と援助（通年）
- 3 保健管理：養護担当による保健指導（手洗い、歯みがき等）
- 4 安全管理：不審者対応避難訓練、交通安全教室・防犯教室の実施
- 5 特別支援教育：スクールカウンセラーの訪問及び保護者との希望面談（毎週火曜日）
- 6 園内研修：保育フォーラム・オープン保育（6月）、研究会議の実施
- 7 情報公開：園だより、学年だより、学年・休業前連絡会、HPの更新
- 8 保護者との連携：連絡ノート、降園時の連絡、懇談会の実施、Google Classroom
- 9 大学・学園、地域との連携：各学校園の研究会への参観・附属学園間交流・外部行事等
- 10 施設設備：全職員による安全点検（毎月）、樹木剪定、園庭整備、害虫駆除、大学による安全衛生パトロールの実施

令和7年度 第1回 教育アンケート

※Googleフォームにて回答を依頼

富山大学人間発達科学部附属幼稚園

7月17日（木）までにご回答くださいますようお願いいたします。

A とてもそう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 全く思わない

	項 目	内 容	A	B	C	D
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2	保育指導	園は、子どもが夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)				
4	安全管理	園は、子どもの安全を守る取組を行っている。				
5	特別支援教育	園は、一人一人の子どもの思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。				
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。				
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。				
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。				
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎ ご意見コーナー
評価項目の番号を記入してください。お名前も書いていただけるとありがたいです。

令和7年度 第1回 教育アンケート（教員用）

富山大学教育学部附属幼稚園

※7月17日（木）までに副園長へご提出ください。

※評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つに○を記入してください。

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 全く思わない

	項 目	内 容	A	B	C	D
1	園運営	私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2	保育指導	私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3	保健管理	私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。 （挨拶、保健指導）				
4	安全管理	私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。				
5	特別支援教育	私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6	園内研修	私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）				
7	情報公開	私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）				
8	保護者との連携	私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）				
9	大学・学園、地域との連携	私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）				
10	施設設備	私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎お気付きの点やご意見がある方は、「ご意見コーナー」に評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能と思われる内容について、代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

「ご意見コーナー」

【評価項目： 番】

令和7年度 第1回保護者アンケート集計結果 -R6年度7月・12月との比較-

項 目	内 容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない		
		R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	80%	87%	90%	19%	13%	10%	1%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	86%	87%	97%	14%	13%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	81%	85%	93%	19%	14%	5%	0%	1%	2%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	81%	79%	85%	18%	20%	15%	1%	1%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	71%	79%	83%	28%	20%	15%	1%	1%	2%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	76%	79%	80%	21%	20%	20%	3%	1%	0%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	71%	69%	78%	28%	27%	18%	1%	4%	3%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	79%	79%	83%	20%	18%	15%	1%	3%	2%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	64%	60%	62%	33%	30%	28%	3%	9%	10%	0%	1%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	69%	73%	77%	31%	27%	21%	0%	0%	2%	0%	0%

【考察】

・すべての項目で【A:そう思う】の割合が前年12月、前年7月より高くなっており、たいへん嬉しいアンケート結果となっている。保護者の期待を裏切らないよう、今後も「子供が主役の幼稚園」を目指し、園運営、保育に臨みたい。

・個別の項目で見ると、60%台、70%台の項目が3項目(7、8、10)ある。

[9:大学・学園、地域との連携]地域との連携については、校区をもたない附属特有の事情などもあり、連携の難しさはあるが、地域の園としてできることを今後も模索していきたい。大学との連携については、研究面での連携、学生の実習等での連携はできているが、直接園児や保護者に関わる連携が難しい。11月には、医学部との連携で行う「ぬいぐるみ病院」等も予定されている。

[10:施設設備]毎月の安全点検を確実にし、修繕の必要な部分はできるだけ早く対処しているが、外部施設や遊具については、大学からの保守の財源が乏しいため、改修等の対応が難しい。

[7:情報公開]各クラスのクラスループで、毎日保育の様子を伝えている。また、園だより、学年だより、学級連絡会の機会等を通じて、園での取組を発信している。今後も継続するとともに、内容を吟味していきたい。

・[3:保健管理]生活習慣についての指導は、園と家庭の両輪で取り組んでいけるよう、保護者と情報を共有したり思いを共有しながら進めていきたい。

[5:特別支援教育]研究主題「主体的な子供の活動をささげる教師の役割」のもと、子供一人一人を理解すること(見取り)と、援助について研究しているところである、今後も子供理解と個に応じた援助の在り方についての実践研究を進め、子供たちを支えていきたい。

令和7年度 第1回教員アンケート集計結果 -R6年度7月・12月との比較-

項 目	内 容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない		
		R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7
1	園運営	私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。											
		22%	56%	44%	78%	44%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。											
		22%	38%	56%	67%	62%	33%	0%	0%	11%	0%	0%	0%
3	保健管理	私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。（挨拶、保健指導）											
		67%	78%	56%	33%	22%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理	私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。											
		33%	56%	67%	67%	44%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。											
		56%	56%	44%	44%	44%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
6	園内研修	私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）											
		17%	40%	33%	83%	40%	67%	0%	20%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）											
		17%	80%	40%	83%	20%	60%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8	保護者との連携	私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）											
		67%	60%	60%	33%	40%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）											
		17%	40%	20%	83%	60%	80%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
10	施設設備	私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。											
		44%	33%	22%	56%	67%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【考察】

・[2: 保育指導]で【A: そう思う】が56%、【C: あまりそう思わない】が11%であった。今年度の研究(研究主題「主体的な子供の活動を支える教師の役割～保育の質を高める～」)を進めるにあたり、「主体的に活動する子供の姿とは」「それを支える教師の役割とは」とじっくりと話し合い、自分のこれまでの保育を振り返りながら研究を進めている。子供が遊びに没頭できるよう援助を考えながら日々保育にあたっているものと考え。一方、「もっとよい保育を実践したい」「自分も成長したい」という意欲の表れとして、自己評価が低くなったものと考え。

・ほとんどの項目で【B: だいたいそう思う】と答える教員の割合が多いのは、日々、「子供が主役の幼稚園」を目指し、子供たちが生き生きと活動できるよう最善策を模索しながら保育に取り組んでいる、慢心せずに子供たちと向き合っている思いの表れだと考え。その中で、【A: そう思う】の割合が高い2項目[4: 安全管理][8: 保護者との連携]は、保育者が、子供の園生活において、大事にしたいこととして心がけているという現れだと考え。

おててつないで

富山大学教育学部
附属幼稚園 園だより
令和7年9月12日発行

第1回教育アンケートにご協力いただきありがとうございました

楽しかった夏休みが終わり、子供たちの元気な声が、幼稚園に戻ってきました。7月にはご多用の中、教育アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせします。多くの保護者の方々からご回答いただき、大変ありがたく思っております。教職員一同、アンケート結果を真摯に受け止め、これからも保護者の皆様にご協力いただきながら子供たちの成長にとってよりよい幼稚園となりますよう努めてまいります。

令和7年度 第1回保護者アンケート集計結果 -R6年度7月・12月との比較-

項 目		内 容	A			B			C			D		
			そう思う			だいたい そう思う			あまり そう思わない			全く 思わない		
			R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7	R6.7	R6.12	R7.7
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	80%	87%	90%	19%	13%	10%	1%	0%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	86%	87%	97%	14%	13%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 （挨拶、保健指導）	81%	85%	93%	19%	14%	5%	0%	1%	2%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	81%	79%	85%	18%	20%	15%	1%	1%	0%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	71%	79%	83%	28%	20%	15%	1%	1%	2%	0%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	76%	79%	80%	21%	20%	20%	3%	1%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	71%	69%	78%	28%	27%	18%	1%	4%	3%	0%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	79%	79%	83%	20%	18%	15%	1%	3%	2%	0%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	64%	60%	62%	33%	30%	28%	3%	9%	10%	0%	1%	0%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	69%	73%	77%	31%	27%	21%	0%	0%	2%	0%	0%	0%

すべての項目で【A：そう思う】の割合が前年12月、前年7月より高い評価をいただき、大変ありがとうございます。嬉しい思いでいっぱいです。この結果に甘んじることなく、保護者の皆様の期待を裏切ることのないよう、今後も「子供が主役の幼稚園」を目指し、園運営、保育に臨んでまいります。

【9：大学・学園、地域との連携】地域との連携については、附属特有の事情等もあり連携の難しさはありますが、できることを今後も模索していきたいと思えます。大学との連携については、研究面、実習等での連携はできていますが、直接園児や保護者に関わる連携が難しいところですが、園児の安全を第一に対応していきます。

【10：施設設備】は、毎月の安全点検後、修繕の必要な箇所はできるだけ早く対処しています。大きな施設や遊具については、大学からの保守財源が乏しいため、対応が難しいという現状です。

【7:情報公開】について、クラスルームを活用、毎日保育の様子、園からのお知らせを確実にお届けします。また、園だより、学年だより、学級連絡会の機会等を通じて、園での取組を発信していきます。

【3:保健管理】生活習慣についての指導は、園と家庭の両輪で取り組んでいけるよう、保健だより等で情報等を共有しながら進めてまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

【5:特別支援教育】について、研究主題「主体的な子供の活動をさせる教師の役割」のもと、子供一人一人を理解すること（見取り）と、援助について研究しているところです。今後も子供理解と個に応じた援助の在り方についての実践研究を進め、子供たちを支えていきたいと考えています。ご理解いただけると幸いです。

「ご意見コーナー」より ※名前を書かれた方の意見です。（【 】は園の方針等）

1 園運営

・日々の援助で忙しい中、色々な行事、子供たちがワクワクするような取り組みを作っていただきありがとうございます。先生方は毎日忙しい中でどうやって準備や進行をしているのだろうと心配になってしまうほど、新学期が始まってから約3ヶ月半の間で色々な経験をさせていただきました。そのおかげで娘は毎日楽しく幼稚園に通っています。次の行事を楽しみにしながらワクワク通える幼稚園、本当にありがたい環境です。そして、いつも沢山のサポートありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

【嬉しいご意見、ありがとうございます。今後も同様に、それ以上に取り組んでまいりたいと思います】

7 情報公開

・携帯電話の適正な使用すら禁止されることについて、理路整然とした回答が無いように思います。（感情論で、禁止としているだけに思ってしまう）

【「園内での携帯電話・スマートフォンの使用は控えてください」とお願いをしております。お子さんの保育参観のために来園していただいている中で、保育中に遊びに集中する子供の前でスマホ操作、通話する大人の姿を見せたくない、それらによって集中を途絶えさせたくないという園の思いです。マナーモードの設定をお願いいたします。緊急・必要の場合は、園舎外で通話していただきますようお願いいたします。また、個人情報保護の観点から、スマートフォン等による撮影はご遠慮ください（附属小学校も同様の対応をお願いしております）。ご理解いただきますようお願いいたします。】

9 大学・学園、地域との連携

・学園内をお散歩探検する（運動会の練習の見学など）附属中学生との交流がありますが、地域の方との連携、交流はあまりないのかなと感じました。他の幼稚園が地域との連携が強いかわかりませんが、そこにこだわらなくてもいいのかなとも思いますが、園児の季節の作品や幼稚園のニュース（野菜の収穫や梅ジュースを作ったことなど）学園前のバス停にある掲示板に展示するなど、地域の方が幼稚園のことを気にかけるきっかけがあればいいなと思います。

【学園掲示板の活用について、ご提案いただいた旨を小・中・特・事務室に伝えます。また、学園掲示板の活用について、学園連絡会で相談したいと思います。】

お名前のない方のご意見についても、教職員・学校評議員の方には原文のままお伝えし、共通理解を図りました。ただし、園だよりへの掲載については、割愛させていただいております。

今後も保育優先を心がけ、子供たちのために様々な取組をしています。その中で、保護者の皆様と園とが協力し合い取り組んでいくことで、より子供たちの成長により影響を与えて考えております。園運営等について分かりにくい点等ありましたら、日々顔を合わせる機会もありますので、いつでもお声がけください。内容によっては承れないこともあるかもしれませんが、教職員で共通理解し、少しでも改善できる部分は改善に取り組むと考えております。今後とも本園に対してご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

12月に同じ項目で教育アンケートをとり、7月の結果と比較して考察していきたいと考えております。その際には、再度お手数をおかけしますが、ご協力いただきたいと存じます

令和7年12月12日

保護者 各位

富山大学教育学部附属幼稚園

園長 徳 橋 曜

令和7年度 第2回 教育アンケートの記入について（お願い）

時下 保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本園の園運営及び教育活動推進に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本園では、教育活動その他の園運営を継続的に改善することを目指し、長期休業を節目として自己評価を行っております。園の教育方針をご理解の上、いつも温かく全面的に園運営を支えてくださる保護者の皆様に「教育アンケート」へのご協力をお願いし、お寄せいただいたご意見を今後の参考にさせていただきたいと思っております。

つきましては、下記の「参考資料」をお読みいただき、Classroomから送付いたします教育アンケートにご回答ください。ご多用のところを恐縮ですが、**12月21日（日）までにご回答の上、返信ください**ますようお願いいたします。

なお、教育アンケートは、無記名となっております。ただ、ご意見コーナーに記入される場合は、お名前も一緒に書いていただけるとありがたいです。

「参考資料」

《園の教育目標》

- ・子供らしく、のびやかに、いきいきとした子
- ・自分で考え、行動し、責任をもとうとする子
- ・まわりのすべてに心をかよわせて生活する子

— 令和7年度後期前半の主な取組について（評価項目に準じて記載） —

- 1 園運営：運動会、いもほり、いもパーティ・クッキング、秋見付け遠足、こどもまつり、学校評議員会（年2回）
- 2 保育指導：重点目標「夢中になって遊ぶ子供の育成」に向けて環境構成の工夫と援助
- 3 保健管理：養護担当による保健指導（歯みがき、目、かぜの予防等）
- 4 安全管理：全教職員による安全点検（月1回）、交通安全教室、避難訓練、防火教室、環境衛生検査
- 5 特別支援教育：スクールカウンセラー（SC）の訪問及び保護者との希望面談（毎週火曜日）
SC・特別支援学校の特別支援コーディネーター（訪問含）を交えた園児指導会議
- 6 園内研修：研究主題「主体的な活動を支える教師の役割」の解明、園内研修・研究会議の実施、施設訪問研修
- 7 情報公開：園だより、学年だより、HPの更新、Google Classroomの活用
- 8 保護者との連携：連絡ノート、降園時の連絡、学年・学級・休業前連絡会、個別懇談会
- 9 大学・学園、地域との連携：教育実習（3年次）・教職実践演習（4年次、教職大学院）の受け入れ、
大学教員への研究協力、附属学園との交流
- 10 施設設備：安全点検（毎月1回）、園庭整備、安全衛生・産業医パトロール、環境衛生検査

令和7年度 第2回 教育アンケート

※Googleフォームにて回答を依頼

富山大学人間発達科学部附属幼稚園

12月21日（日）までにご回答くださいますようお願いいたします。

A とても思う B だいたい思う C あまりそう思わない D 全く思わない

	項 目	内 容	A	B	C	D
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2	保育指導	園は、子どもが夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)				
4	安全管理	園は、子どもの安全を守る取組を行っている。				
5	特別支援教育	園は、一人一人の子どもの思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。				
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。				
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。				
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。				
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎ ご意見コーナー

評価項目の番号を記入してください。お名前も書いていただけるとありがたいです。

令和7年度 第2回 教育アンケート（教員用）

富山大学教育学部附属幼稚園

※12月22日（月）までに副園長へご提出ください。

※評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つに○を記入してください。

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 全く思わない

	項 目	内 容	A	B	C	D
1	園運営	私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2	保育指導	私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3	保健管理	私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。 （挨拶、保健指導）				
4	安全管理	私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。				
5	特別支援教育	私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6	園内研修	私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）				
7	情報公開	私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）				
8	保護者との連携	私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）				
9	大学・学園、地域との連携	私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）				
10	施設設備	私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎お気付きの点やご意見がある方は、「ご意見コーナー」に評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能と思われる内容について、代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

「ご意見コーナー」

【評価項目： 番】

令和7年度 第2回保護者アンケート集計結果 -R7年度7月・R6年度12月との比較-

項 目	内 容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない		
		R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	87%	90%	95%	13%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	87%	97%	97%	13%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	85%	93%	92%	14%	5%	8%	1%	2%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	79%	85%	85%	20%	15%	13%	1%	0%	0%	0%	2%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	79%	83%	82%	20%	15%	18%	1%	2%	0%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	79%	80%	84%	20%	20%	16%	1%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	69%	78%	73%	27%	18%	26%	4%	3%	2%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	79%	83%	87%	18%	15%	10%	3%	2%	2%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	60%	62%	71%	30%	28%	24%	9%	10%	3%	1%	0%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	73%	77%	84%	27%	21%	13%	0%	2%	2%	0%	0%

【考察】

・すべての項目で【A:そう思う】の割合が前年12月、前年7月より高くなっており、たいへん嬉しいアンケート結果となっている。保護者の期待を裏切らないよう、今後も「子供が主役の幼稚園」を目指し、園運営、保育に臨みたい。

・個別の項目で見ると、60%台、70%台の項目が3項目(7、8、10)ある。

〔9:大学・学園、地域との連携〕地域との連携については、校区をもたない附属特有の事情などもあり、連携の難しさはあるが、地域の園としてできることを今後も模索していきたい。大学との連携については、研究面での連携、学生の実習等での連携はできているが、直接園児や保護者に関わる連携が難しい。11月には、医学部との連携で行う「ぬいぐるみ病院」等も予定されている。

〔10:施設設備〕毎月の安全点検を確実にやり、修繕の必要な部分はできるだけ早く対処しているが、外部施設や遊具については、大学からの保守の財源が乏しいため、改修等の対応が難しい。

〔7:情報公開〕各クラスのクラスループで、毎日保育の様子を伝えている。また、園だより、学年だより、学級連絡会の機会等を通じて、園での取組を発信している。今後も継続するとともに、内容を吟味していきたい。

・その他

〔3:保健管理〕生活習慣についての指導は、園と家庭の両輪で取り組んでいけるよう、保護者と情報を共有したり思いを共有しながら進めていきたい。

〔5:特別支援教育〕研究主題「主体的な子供の活動をさせる教師の役割」のもと、子供一人一人を理解すること(見取り)と、援助について研究しているところである、今後も子供理解と個に応じた援助の在り方についての実践研究を進め、子供たちを支えていきたい。

令和7年度 第2回教員アンケート集計結果 -R7年度7月・R6年度12月との比較-

項 目		内 容	A			B			C			D		
			そう思う			だいたい そう思う			あまり そう思わない			全く 思わない		
			R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.7	R6.12	R7.12
1	園運営	私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	56%	44%	44%	44%	56%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	38%	56%	33%	62%	33%	67%	0%	11%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。 （挨拶、保健指導）	78%	56%	78%	22%	44%	22%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理	私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。	56%	67%	67%	44%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	56%	44%	44%	44%	56%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
6	園内研修	私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）	40%	33%	33%	40%	67%	67%	20%	0%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）	80%	40%	80%	20%	60%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8	保護者との連携	私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）	60%	60%	60%	40%	40%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）	40%	20%	60%	60%	80%	49%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
10	施設設備	私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	33%	33%	56%	67%	67%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【考察】

・[2:保育指導]について

【C:あまりそう思わない】と回答する教員が0名となり、【A:そう思う】の割合が減り、【B:だいたいそう思う】が増えた。9月からは、毎月保育カンファレンスを行い、自分の保育を振り返った。そこでの話し合いを通して、自分の保育への手ごたえを感じていいるし、「よりよい保育をしたい」と自分の努力したい面を見つけている様子も見られる。自園での研修のほか、他大学附属幼稚園の研修会に参加する、冬季休業中には県内の保育施設を訪問し、保育を見せていただくなど、研修機会の確保に努めている。来年度も継続したい。

・[9:大学・学園・地域との連携]について

9月以降、教育実習、卒業論文への協力、実践教職演習の受入れ、大学教員の研究協力等を行った。学園との連携としては、授業や実習を通しての交流のほか、4校園副園長で、4校園の連携の在り方、大学の附属学校としてできることを協議中である。

・[10:施設設備]について

修繕が必要な施設が多く、優先順位をつけて対応している。令和10年度には、140周年を迎えるが、記念のものとして、修繕、維持費のかかるものを避けたいと考えている。

おててつないで

富山大学教育学部
附属幼稚園 園だより
令和8年2月2日発行

第2回教育アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度も後2か月あまりとなりました。先月後半から毎週のように寒波が押し寄せ、園庭にはたくさんの雪が積もりました。子供たちは、園でしかできない友達との雪遊びを思いっきり楽しんでいます。

皆様のご理解、ご協力のもと進めてまいりました今年度の園運営も、ほぼ滞りなくできたことについて、たいへん嬉しく、ありがたく思っております。この後、修了式などの行事も控えています。今後も子供たちが園生活をのびのびと行えるよう、よい環境を整え、日々の保育に取り組んでまいります。

令和7年度 第2回保護者アンケート集計結果 -R7年度7月・R6年度12月との比較-

項 目	内 容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない		
		R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12	R6.12	R7.7	R7.12
1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	87%	90%	95%	13%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	87%	97%	97%	13%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	85%	93%	92%	14%	5%	8%	1%	2%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	79%	85%	85%	20%	15%	13%	1%	0%	0%	0%	2%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	79%	83%	82%	20%	15%	18%	1%	2%	0%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	79%	80%	84%	20%	20%	16%	1%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	69%	78%	73%	27%	18%	26%	4%	3%	2%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	79%	83%	87%	18%	15%	10%	3%	2%	2%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	60%	62%	71%	30%	28%	24%	9%	10%	3%	1%	0%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	73%	77%	84%	27%	21%	13%	0%	2%	2%	0%	0%

第2回の教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。上記の表が集計結果となります。この結果について、職員会議において教職員で共通理解しました。

令和7年度第1回アンケートの集計結果と比較し、10項目とも高い評価となりました。これまでの取組を評価いただけたことに感謝いたしますとともに、今後も引き続き子供たちのために頑張ろうと気持ちを新たにしております。

[7:情報公開]、[9:大学・学園、地域との連携]については、教職員の業務との調整を図りながら保護者への適切な情報公開の在り方や地域との連携について継続して検討してまいります。[4:安全管理] [10:施設設備]に関しても、子供たちがより健康に、安全に過ごせるよう対策を見直し、大学と連携しながらよりよい環境整備に、保護者との連携に努めてまいります。

今後もより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

「ご意見コーナー」より

※記名された方の意見です。事例が特定できる意見等は編集しました。〔 〕は、園の方針等)

1 園運営

- ・どの先生も器用でセンスがあり、上手に園運営をしてくださっていることが伝わります。その一方で、保護者の見えないところでの先生方の業務負担は、かなり大きいのだろうと案じております。研究機関であることなど、園の特性があるため、担うべき部分はもちろんあるとは思いますが、そのなかでも、先生方の業務負担軽減を図れる部分は見直され、より「ハピネス」な生活になると私たちも嬉しいなと思います。

【ありがとうございます。「子どもが主役の幼稚園」を忘れずに、よりよい園運営に努めてまいります。】

2 保育指導

- ・先生方が本当に上手くサポートしてくださり、魔法の言葉をかけてくださるお陰で、娘は、やる気に溢れて色々とチャレンジできているのだと感じています。いつも手厚いサポート本当にありがとうございます。
- ・子どもの性格に合わせた指導をしていただいております、うまくいかないことがあっても乗り越える力がついてきました。毎日楽しく登園できています。

【保護者の皆さんのお子さんへの励ましをはじめとした様々なサポート、園へのご理解とご協力に大変感謝しております。お子さんが安心して園で活動できるよう、一人一人に寄り添い、お子さんのよさを大切にしたい援助を目指します。】

3 保健管理

- ・養護担当の先生による保健指導で学んできたことを本人が家庭でも一生懸命取り組んでいます。歯磨き手洗い等は家族の中でいちばん丁寧です。習慣をつけることが大事だと思いますので、園で分かりやすくご指導いただき嬉しいです。

【ありがとうございます。今後も分かりやすく、子供たちがやってみたくなる指導を工夫していきます。】

7 情報公開

- ・以前はコロナやインフルの感染症がでた場合、対象学年にも連絡が入っていましたが、今年からは園全体への連絡のみになったようです。感染対策はもちろん常日頃から個々で行うべきではありますが、園で同じ保育室で過ごしたか、過ごしていないかは大きな違いだと思います。同じ学年のお友達が感染症にかかった(接触した)と把握できれば、少しの体調不良でも大事をとって休ませようと思うのではないのでしょうか。かかりつけ医に受診すると、幼稚園でどんな風邪が流行っているか、おなじクラスに感染症にかかっている子がいるか、聞かれます。その情報をもとに検査をされます。感染症にかかったお子さんの学年へ連絡することは感染拡大防止にとっても必要な情報だと思います。ご検討よろしくお願い致します。

【今後、新型コロナウイルス感染症の罹患報告があった場合には、Classroom「R7 幼稚園保護者会」の連絡の中で、該当学年もお伝えいたします。】

8 保護者との連携

- ・お家では「ママやって！ママがいい！」が口癖の娘ですが、幼稚園では自分の準備は自分で行い、一番を目指して頑張っているとお聞きしました。お家で見せる姿とは異なるので、幼稚園での娘の姿を降園時や連絡帳などでお聞きするのが楽しみとなっています。
- ・降園時や連絡帳、個別懇談会において、丁寧かつきめ細やかに保育の様子を教えてくださいました。我が子の様子や成長を感じ、先生とのつながりも感じました。ありがとうございます。
- ・お迎え時の一人一人とのやり取りが形式的になっているように感じる場合があります。その日の活動内容の報告だけでは、子どもの姿や成長の過程が十分に伝わりづらく、保護者としては物足りなさを感じる時もあります。個別懇談の際には、子どもの様子や成長について丁寧にお話を伺うことができますが、日々のお迎え時のやり取りは短時間で次々と進むため、ただただ流れの中で行われているように感じることもあります。限られた時間であることは理解している一方で、短い一言でも子どもの成長を実感できるやり取りがあると、園での生活をより理解でき、安心につながると感じます。

【できる限り日々の子供たちの様子をお伝えするように努めます。行事や園の都合で一斉降園にする場合もあります。ご理解いただきますようお願いいたします。】

10 施設設備

- ・園の施設内がいつも綺麗だなと思っております。週末に持ち帰ってくる内ばきを見ても、綺麗さが感じられます。以前、先生が玄関前の通園通学路の石を拾っておられたのを拝見しました。細かなお心遣いが至るところで感じられありがたく存じます。

【環境整備活動等で、保護者の方にご協力いただいているおかげと感謝しております。本園には、古く、修繕が必要な箇所もありますが、安全に留意して大切に使いながら、大学と連携して整備に努めてまいります。】

お名前のない方のご意見も、教職員で共通理解いたしました。園運営の改善に生かして参ります。また、学校評議委員にも原文のまま（お名前は伏せて）お伝えし、ご意見をいただく予定です。その他、「園が撮影した写真を分けていただくことは可能か」とのご意見をいただきましたが、現時点では考えておりません。こどもまつりでの撮影可能スペースについてもご意見をいただきました。来年度、可能な限り広くできなか考えて実施したいと思っております。

令和7年度第1回学校評議員会記録

日 時 令和7年8月26日(火) 13:30～15:00

場 所 附属幼稚園 遊戯室

出席者 ○学校評議員 奥田 實 【富山県立大学 名誉教授】
中林 啓子 【富山市立幼稚園長会 会長】
黒澤 敏 【トヨタカローラ富山(株) 代表取締役社長】
松井 薫子 【(株)ボン・リブラン 常務取締役】
○附属幼稚園 園長、副園長

- 内 容
- 1 園長挨拶
 - 2 本年度の運営方針・評価計画・園の教育プラン
 - 3 前期の取組(園の近況)
 - 4 第1回教育アンケート(7月)結果報告
 - 5 協議

【協議内容(評議員からの意見)】

○園行事について

平日開催のものがある(例えば親子遠足)が、保護者の負担になっていないか。附属幼稚園に入園させたいと思いつながら、親の負担が大きいと躊躇する保護者もいるのではないか。行事に親子で参加することに意味があると思うが、親の負担面から学校行事を見直すことも必要である。

○入園児の減少について

幼稚園、保育所、認定こども園と、保護者が幼児教育施設を選ぶ時代になっている。共働き世帯も多く、預かりの時間が短い幼稚園は敬遠されがちであるが、幼稚園教育でしかできない良さ、素晴らしさがある。それらを知ってもらうために、園の見学機会を増やしてはどうか。附属幼稚園の良さを保護者に広める工夫をしてほしい。

○学園連携について

中学校との連携(中学校3年生家庭科の授業との連携)等、同じ敷地内だからこそできる連携がある。引き続き進めてほしい。

幼小接続については、小学校の先生方に、もう少し幼児教育、幼稚園での育ちを分かってもらわなければ、接続が進まない。交流はしているかもしれないが、それで十分と言えるのか。もう一歩踏み込んだ円滑な接続に取り組んでいただき、事例を県内に発信していただけたら有難い。

○地域連携について

アンケートでは、「大学・学園、地域との連携」という質問項目となっている。「大学・学園」との連携と「地域」との連携を分けて質問するとよいのではないか。地域との連携が難しいのは分かるが、できるだけ地域との交流を持つよう、お願いしたい。

令和7年度第2回学校評議員会記録

日 時 令和8年3月2日（月）13:30～15:00

場 所 附属幼稚園 園長室

出席者 ○学校評議員 中林 啓子 【富山市立幼稚園長会 会長】
黒澤 敏 【トヨタカローラ富山(株) 代表取締役社長】
松井 薫子 【(株)ボン・リブラン 常務取締役】
○附属幼稚園 園長、副園長

- 内 容
- 1 園長挨拶
 - 2 後期の取組（園の近況）
 - 3 第2回教育アンケート（12月）結果報告
 - 4 今年度の振り返りと次年度への課題
 - 5 協議

【協議内容（評議員からの意見）】

○職員構成面の課題について

職員の年齢の関係で、出産、育児に伴う休暇を取得する職員が複数いるとのことだが、どの職場も似たような悩みを抱えている。働きやすい環境を整えることも大切である。今ある人材の力を十分に発揮できるよう、工夫して園運営をしていってほしい。その際、一部の方に過度な負担がかかることのないよう、十分配慮をお願いしたい。

○保護者連携について

I C Tを活用して効果的・効率的に保護者と連携を図っているとのことだが、スピード感のある情報伝達は、とてもよい。現在は紙媒体である学年だよりや園だよりについても、ClassroomやHPを活用してペーパーレス化を図り、情報の伝達方法を一本化するという考え方もあってよい。また、親が我が子の学年の情報を得るだけではなく、どの学年の情報も入手できるようにしておくのもよいのではないか。

○園行事について

後期は、行事が多い印象である。一つの行事が終われば、一息つく暇もなく次の行事が迫ってくる。先生方も大変だが子供も大変だろう。暑さや天候等、想定通りに行事を行うことが難しい面もある。保護者とも相談しながら、発展的統合という視点で行事を見直すことも必要である。ただ、行事に取り組むことで育つ力もあるので、行事の精選、行事の実施方法、内容の見直しを図っていくことも視野に入れ、来年度以降の行事計画を進めてほしい。

○研究について

人的に厳しい中で、研究を推進していくことが先生方の負担になりかねない。

→（園側の回答）「研究をやらない」という選択肢はないだろうが、研究・研修が日常の中に無理なく入り込むように、持続可能な研究のやり方を工夫して進めていきたい。

附属は、地域のハブの役割を求められている。他の公立・私立の幼稚園とつながって、協力しながら研究・研修を進めていただけると、大変ありがたい。

V 次年度の課題

●持続可能な園運営および働き方改革を踏まえた運営

- 1 研究と勤務時間とのバランス
 - ・資質向上につながる研究の在り方
 - ・勤務終了時刻を意識した研究・研修
- 2 業務改善と園運営との両立
 - ・保護者等との信頼関係保持の両立
 - ・業務内容・行事等の縮減